

一般社団法人日本医療薬学会
平成 29 年度第 5 回定例理事会 議事録

一. 開催日時：平成 29 年 10 月 9 日（月・祝） 13 時 30 分 ～ 16 時 40 分

二. 開催場所：日本医療薬学会会議室

三. 出席者

会 頭：佐々木 均

副会頭：奥田 真弘、山田 安彦、井関 健

理 事：青山 隆夫、伊藤 清美、大谷 壽一、川上 純一、崔 吉道、
千堂 年昭、武田 泰生、濱 敏弘、松原 和夫、峯村 純子、
宮崎 長一郎、望月 眞弓、山田 清文

監 事：大石 了三、安原 真人、山元 俊憲

年会長：大森 栄

陪席者

顧 問：五十嵐 邦彦、木平 健治

事務局：星 隆弘

欠席者

理 事：出石 啓治、佐藤 淳子、脇山 尚樹

顧 問：山本 信夫

四. 議長：佐々木 均

五. 会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 17 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六. 議事の経過の概要及びその結果

1. 平成 29 年度第 4 回定例理事会議事録の確認

議長より、本年 8 月 28 日に開催された平成 29 年度第 4 回定例理事会議事録を基に議事内容の確認が行われ、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。

続いて、前回理事会から昨日までに開催された各委員会等の会務状況が報告された。

2. 協議事項

(1) 第 9 回臨時社員総会、平成 29 年度学会賞表彰式への対応

議長より、第 9 回臨時社員総会の資料の構成について、はじめに①協議事項として、平成 30 年度事業計画案、同年予算案、名誉会員の委嘱に係る 3 件の議題と、②報告事項として、平成 30 年度の学会賞、同年学術小委員会、2022 年度年会長候補者の 3 件の公募案内を取り上げ、各議案及び報告事項を合わせて総会資料を整備することが説明され了承された。続いて、千堂理事より平成 30 年度事業計画案について、山田(清)理

事より平成 30 年度予算案に係る説明がありました。また、千堂理事より総会当日の段取りとして、議事録署名人候補者 2 名のリストアップと、平成 29 年度学会賞表彰式の資料、会場のレイアウト等に関する説明があった。協議した結果、総会資料の一部表記の変更と誤記を修正し、同資料を確定させることとした。

(2) 医療薬学学術小委員会の公募

山田(清)理事より、前回の理事会において、医療薬学学術小委員会の活動を支援するために最大 30 万円（最長 3 年以内）の助成金を交付することが了承されたことを受け、医療薬学学術委員会の協議を経て、本理事会に平成 30 年度医療薬学学術小委員会の募集要項案、医療薬学学術委員会及び学術小委員会運営規程案、同小委員会の活動申請書案（ひな形）が提示し、各々に関する説明が行われた。協議した結果、運営規程及び活動申請書は了承された。

(3) 第 28 回年会への演題登録

青山理事より、本学会の委員会活動を通じて得られた成果や会員への教育・普及を目的とする企画を本学会年会のシンポジウムを通じて情報発信する際、企画シンポジウム委員会が窓口となって演題登録を受付し、理事会に諮ることを昨年から実施している。今回、平成 30 年度に開催する第 28 回年会のシンポジウムへの演題登録の受付に係る説明が行われた。協議した結果、公募により登録された演題との類似性や集約することなどを考慮する必要があるため、一概に学会活動を通じた成果や教育・普及のための演題を優先的に採択することは困難な面があるなどの指摘があり、公募による演題登録の受付時期と大きく変わらない来年 2 月を締切とする形で、学会内の各委員会委員長に改めて演題登録の受付を周知することとなった。

(4) 日本薬剤学会第 33 年会の合同シンポジウムへの協力

議長より、日本薬剤学会より同学会第 33 年会における本学会との合同シンポジウムの開催及びその企画等を担う本学会の窓口担当者の推薦依頼があったことが説明された。協議した結果、本学会及び薬剤学会の両会員である菅原満 氏（北海道大学大学院薬学研究院）を本学会より推薦することとし、今後、本人の内諾を得た上で、依頼者に回答することとした。

(5) 専門薬剤師、認定薬剤師の英語表記

奥田副会頭より、先日開催した各認定薬剤師制度の整合化等に係る検討会議において協議した薬物療法専門薬剤師及び同指導薬剤師の英語表記の新設と、がん専門薬剤師及び同指導薬剤師の英語表記との整合性が検討され、本理事会に具体的な名称及び略称が提示された。協議した結果、下記の呼称及び略称を使用することとなった。ただし、米国の BCPC や BCOP との混同を避けるため、今後整備する本学会 HP の英語版や当該英語名称を記載した名刺等を海外在住者に提示する際には、各略称の後に「-JSPHCS」を付記すること、また注意喚起することとし HP 等で周知することとした。また、認定薬剤師制度の認定薬剤師及び指導薬剤師の英語表記については、今回は検討しないこととした。

- ・薬物療法専門薬剤師 Board certified Pharmacotherapy Specialist (BCPS)
他団体（海外）と区別する場合の略称 (BCPS -JSPHCS)
- ・薬物療法指導薬剤師 Board certified Senior Pharmacotherapy Specialist (BCSPS)
- ・がん専門薬剤師 Board certified Oncology Pharmacist (BCOP)
他団体（海外）と区別する場合 (BCOP -JSPHCS)
- ・がん指導薬剤師 Board certified Senior Oncology Pharmacist (BCSOP)

(6) 専門薬剤師制度の建て付けの方向性（各制度間の整合性）

奥田副会頭より、本学会の各認定薬剤師制度は複雑であり時代のニーズに対応する必要があること。また薬物療法専門薬剤師認定制度の認定者が少ない状況などを踏まえ、各認定薬剤師制度の整合化等に係る検討会議において、理解しやすい制度への建て付けの見直しなど 2 つの専門薬剤師制度の認定要件の整合化が検討され、薬物療法専門薬剤師認定要件の見直し案などが提言された。協議した結果、専門医制度では学術業績の要件が求められているなど、学術性に関する要件の必要性を指摘する意見があった。また、臨床実績を評価する 50 症例については、介入プロトコールを使用し普通に業務を実践している者が症例審査にパスしにくい状況が示唆されるなど、これらの改善を含めた協議を継続することとなった。

(7) 病態を理解して組み立てる薬剤師のための疾患別薬物療法の改訂

峯村理事より、病態を理解して組み立てる薬剤師のための疾患別薬物療法の改訂作業が順調に進んでいることが報告され、続いて本理事会の席上に複数の表紙デザインが提示され採用に際しての意見聴取が行われた。協議した結果、表紙の文字が鮮明且つ帯入りのデザインが支持され、今後、当該デザイン案に沿って具体的な表紙デザインが構築されることが説明された。

(8) 学術著作権協会との契約の更新・変更

事務局より、学術著作権協会との間で契約を締結している医療薬学及び病院薬学の複製利用に係る契約について、契約期間満了後の自動更新が継続していることより、今般、改めて契約締結の依頼を受けたこと。なお、従前との変更点として、複製物の使用料に係る単位を頁単位から 1 論文単位に変更する契約であることが説明された。協議した結果、当該契約の締結が了承された。

(9) その他

宮崎理事より、厚労省の薬剤師生涯学習教育推進事業に今年度の実施主体として日本薬剤師会が選ばれ、その中の 1 つのグループの活動として、2 日間の研修会を開催する企画があり、本学会に委員として 1 名の推薦依頼があることが説明された。協議した結果、大谷理事を推挙することとした。

3. 報告事項

(1) 第 27 回医療薬学会年会の準備状況報告

第 27 回大森年会長より、同年会の準備状況として、事前参加に 7,305 名（正会員

5,534名、非会員1,648名、学生123名)、懇親会293名の登録があったこと。また直近の収支計算書が提示され、有料参加者数が9,100名を超えた際に黒字化が見込めることが報告された。

(2) 平成30、31年度役員候補者選挙の経過報告

千堂理事より、平成30、31年度役員候補者選挙の経過報告として、理事候補者として定数15名に対し17名からの立候補があり、立候補者数が定数を超えた病院及び大学所属区分では選任投票となり、定数内となった薬局及びその他所属区分では信任投票となること。また、監事候補者選挙では、定数3名に対して4名の立候補者があったため選任投票となり、現在、投票受付期間中であることが報告された。

(3) 保険薬局薬剤師認定制度検討WG企画セミナー

宮崎理事より、本年11月5日に開催する「薬局薬剤師が臨床研究に取り組むための交流フォーラム」のプログラム概要が報告された。

(4) 第28回年会の業務委託契約

千堂理事(第28回年会長)より、第28回年会の運営を委託するコンベンション会社(以下、同社)との業務委託契約書(案)が提示され、年会長、本学会及び同社との三者間契約を締結して運営することが報告された。なお、当該年会における学会事務局の関わりは、収支予算や決算管理に係る同社との対応・交渉、年会長が担う寄付や協賛依頼を除いた寄付申請等を担う。

(5) 平成30年度各学会賞の募集受付

松原理事より、平成30年度の学術貢献賞、奨励賞、論文賞及びPostdoctoral Awardへの応募を10月より来年4月中旬まで受付ることが報告された。詳細は、学会HPに掲載する。

(6) 年会長候補者の公募受付

千堂理事より、2022年度に開催する第32回年会の年会長候補者の募集を12月12日までを期限として受付ることが報告された。詳細は、学会HP上に掲載する。

(7) 後援依頼

議長より、本学会への後援依頼及び広報の依頼があった以下の3件について、了承回答した旨の報告があった。

- ・第2回日本老年薬学会学術大会
- ・第16回日本癌治療学会アップデート教育コース
- ・第21回日本医薬品情報学会総会・学術大会

(8) 第65回、第66回医療薬学公開シンポジウム実施報告

青山理事より、第65回及び第66回医療薬学公開シンポジウムの実施報告があった。

- ・第65回 開催都市：北海道旭川市、実行委員長：田崎 嘉一氏(9月3日開催)

- テーマ「地域包括ケア時代の病診薬連携」
- ・第 66 回 開催都市：鳥取県米子市、実行委員長：島田 美樹 氏（9 月 9 日開催）
- テーマ「再考～医療安全と薬剤師の役割」

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は 16 時 40 分に閉会を宣言し、解散した。